



インスピレーションになる



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長 パリー・ラシン

長井ロータリークラブ会長 遠藤 伴明
 幹事 那須 修
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
 事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047
 E-mail: info@nagai-rc.jp

第2800地区ガバナー 上林 直樹
 第6ブロックガバナー補佐 高橋 眞己
 例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833
 URL: <http://www.nagai-rc.jp>
 会報委員 (横澤寿彦 伊藤克也 村田 剛 中島 浩 土屋茂樹)

【11月・特別月間】ロータリー財団月間

例会報告 No.14 (通算 第2767回) 2018年(平成30年)11月13日(火)号

本日の例会(11月21日)

◎記念植樹=長井中央RC共同事業
 長井市陸上競技場・PM13:00より、
 (昼食はありません。終了後、50周年桜寄贈
 地・桜大橋南堤防の補植実施)

次回の例会(11月27日)

◎休会(祝日の週=11/23 勤労感謝の日の21日
 に振替例会・記念植樹事業開催のため)

前回例会の報告

(食 事)



会長の時間(挨拶)



こんにちは、今日は本当ですとゲスト卓話で日本アルカディアネットワークの黒澤さんをお迎えしての例会でしたが、ご不幸があったとの事で急遽塚田会員の会員卓話となりました。塚田さんには快く引き受けて頂きロータリアンは物事を頼まれたら「イエス」か「はい」の二択しかないを実践してもらいありがとうございます。

さて今日は、唐突ですがトースターについて話をさせていただきます。トースターとはパンを焼くトースターの事ですが、何故トースターかという先月あるゴルフコンペに出た時に優勝の賞品がトースターでした。その時は当然優勝にも絡まないし、何でトースターなのかと思っていました。先日ある雑誌でバルミューダ社の「バルミューダ ザ トースター」の記事を目にしました。皆さんの中には今使っているという人もいるかもしれませんが、読んでみるとこれがなかなかの優れもので業界の中では「もはや改良の余地がない」と言われていたトースターを5ccの水をセットすることにより、その水が熱せられスチームを発生させ表面はさっくりこんがり香ばしく中はしっとりとしたパンを焼くことができるトースターを従業員約50人の会社が開発したという記事でした。当然簡単に開発出来た訳ではなく、きっかけは雨の日に公園で行ったバーベキューでその時に焼いたパンが驚くほど美味しく焼けその時のトーストを再現するために5000枚のパンを焼き完成間近の頃は3食パンで従業員の中には軽い小麦中毒になった社員もいたようでした。そうこうして通常6千円台のトースターを2万円台で世に出し2か月余りで2万台を売り上げるヒット商品になり

ました。この商品が世に出たのはこの会社の社長、寺尾玄社長の力が大きく父の教えは「常識を疑え」ということでした。これはどこかのノーベル賞受賞者の言う「教科書を信じるな」と似ているように思います。この記事を読み思うことは私であれば患者さんやその家族に如何に役立ち喜んでもらえるかを考えなければと思いました。皆さんの職業においてもこの記事が役立てばよいなと思います。

最後に、次年度理事役員を選任するため、指名委員会の開催を通告します。また、大山会長エレクトに3人の理事と会計及び幹事候補者の指名を要請します。

幹事報告

幹事 那須 修



- ・第10回理事会報告
12月プログラムの承認
- ・国際ロータリー2800地区ガバナーエレクト事務所より2019-2020年度地区委員推薦願いについて。
(対応) 各委員につき自薦、他薦があれば1週間以内に事務局あて申し出ください。それを受け次回理事会で当会からの推薦者を決定します

お祝い・表彰(11月)

報告 中島 浩

※在籍(11月)表彰; 渡辺 亨会員(21年)



10月在籍表彰・村田 剛会員(3年)

委員会報告

○プログラム委員会
(大道寺信委員長)



- ・12月のプログラムについて

12月4日(火) PMO:15	タス 例会場	会員卓話 前田昌信会員
12月11日(火) PMO:15	タス 例会場	年次総会
12月18日(火) PM18:00	タス アイリス	夜の例会 Xmasパーティ

○親睦委員会(村田 剛委員長)

ークリスマスパーティのご案内ー

- 12月18日(火) PM18:00 タス
- ・例年同様オークションを行います。
(3千円程度の品物2個提供願います)
- ・ゲスト= 伊藤和哉さん
(福島県 シンガーソングライター)



○社会奉仕委員会(前田昌信委員長)
ー記念植樹(長井中央RCと共同事業)

- 11月21日 長井陸上競技場
PM13:00~14:00 背広
(続き、さくら大橋南側土手・桜植樹場所
補植実施 長靴等)



ニコニコBOX

報告・尾形和夫会員

- ・遠藤 伴明会長
塚田さん 急きょ卓話を引き受け頂きありがとうございます。
- ・那須 修幹事
塚田さん 急な卓話のお願いにもかかわらず、卓話を引き受け頂きありがとうございます。
- ・大道寺信会員
塚田さん 急なお願いを引き受け頂き感謝します。
- ・斎藤 喜内会員
塚田専務卓話ご苦労様です。
- ・横澤 寿彦会員
資料に会社を取り上げ頂き御礼申し上げます。先
- ・村田 剛会員
在籍3年表彰



BOXありがとうございました。
本日金額; 6,000円
累計金額; 111,500円
(達成率 15.9%)

出席報告

委員長 中島 浩長

- ・本日の会員数29名、全出席数25名で出席率は86.21%です。
- ・前回(10月31日分)の出席率は、61.54%に確定します。
- ・前々回(10月21日分)の出席率は、41.67%に確定します。



「長井の戦後産業の歩み」

資料抜粋



塚田弘一会員

1. 人口及び就業者数

① 長井市の人口の推移(昭和30年～平成27年)

区分	昭和30年	昭和45年	昭和60年	平成12年	平成27年	比較(60年)		
	1955	1970	1985	2000	2015	2015-1955	2015/1955	
人口	36,569	33,221	33,490	31,987	27,757	-8,812	75.9%	
世帯数	6,702	7,977	8,645	9,347	9,109	2,407	135.9%	
年齢区分	年少人口 (15歳未満)	12,232	7,538	6,685	4,826	3,311	-8,921	27.1%
	割合	33.4%	22.7%	20.0%	15.1%	11.9%	-	-
	生産年齢人口 (15～64歳)	22,571	22,638	22,042	19,358	15,285	-7,286	67.7%
	割合	61.7%	68.1%	65.8%	60.5%	55.2%	-	-
	老年人口 (65歳以上)	1,766	3,045	4,763	7,803	9,119	7,353	516.4%
	割合	4.8%	9.2%	14.2%	24.4%	32.9%	-	-

資料：国勢調査

③ 長井市産業別就業者数の推移(昭和30年～平成27年)

区 分	昭和30年	昭和45年	昭和60年	平成12年	平成27年	比 較 (60年)		
	1955	1970	1985	2000	2015	2015-1955	2015/1955	
人 口	36,569	33,221	33,490	31,987	27,757	-8,812	75.9%	
就業者数	17,692	18,181	17,802	16,893	13,919	-3,773	78.7%	
就業率	48.4%	54.7%	53.2%	52.8%	50.1%	-	-	
産業別就業人口	第1次産業	10,748	6,768	3,173	1,593	1,007	-9,741	9.4%
	割 合	60.8%	37.2%	17.8%	9.4%	7.2%	-	-
	第2次産業	2,428	5,042	7,478	7,536	5,215	2,787	214.8%
	割 合	13.7%	27.7%	42.0%	44.6%	37.5%	-	-
	第3次産業	4,516	6,365	7,142	7,759	7,384	2,868	163.5%
	割 合	25.5%	35.0%	40.1%	45.9%	53.0%	-	-

資料：国勢調査

④ 長井市産業大分類別就業者数の推移(昭和30年～平成27年)

区 分	昭和30年(1955)		昭和45年(1970)		昭和60年(1985)		平成12年(2000)		平成27年(2015)		比 較 (60年)		
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	2015-1955	2015/1955	
就業者総数	17,692	100.0%	18,181	100.0%	17,802	100.0%	16,893	100.0%	13,919	100.0%	-3,773	78.7%	
第1次	農業	10,575	59.8%	6,727	37.0%	3,147	17.7%	1,574	9.3%	997	7.2%	-9,578	9.4%
	林業	166	0.9%	37	0.2%	19	0.1%	17	0.1%	6	0.0%	-160	3.6%
	漁業	7	0.0%	4	0.0%	7	0.0%	2	0.0%	4	0.0%	-3	57.1%
第2次	鉱業	21	0.1%	66	0.4%	81	0.5%	59	0.3%	10	0.1%	-11	47.6%
	建設業	638	3.6%	1,235	6.8%	1,687	9.5%	2,219	13.1%	1,359	9.8%	721	213.0%
	製造業	1,769	10.0%	3,741	20.6%	5,710	32.1%	5,258	31.1%	3,846	27.6%	2,077	217.4%
第3次	電気・ガス	38	0.2%	61	0.3%	54	0.3%	71	0.4%	46	0.3%	8	121.1%
	運輸	384	2.2%	536	2.9%	527	3.0%	542	3.2%	325	2.3%	-59	84.6%
	卸売・小売	1,892	10.7%	2,546	14.0%	2,770	15.6%	2,703	16.0%	1,728	12.4%	-164	91.3%
	金融・保険	136	0.8%	245	1.3%	326	1.8%	309	1.8%	238	1.7%	102	175.0%
	不動産	8	0.0%	15	0.1%	35	0.2%	40	0.2%	96	0.7%	88	1200.0%
	サービス	1,454	8.2%	2,432	13.4%	2,881	16.2%	3,488	20.6%	4,381	31.5%	2,927	301.3%
	公務	604	3.4%	530	2.9%	549	3.1%	606	3.6%	570	4.1%	-34	94.4%

資料：国勢調査

注:平成17年調査からサービス区分が詳細(医療・福祉、学習支援等)に分類された。

2 農業

① 専兼業別農家数の推移

区分	昭和45年	昭和60年	平成12年	平成27年	比較(45年)		
	1970	1985	2000	2015	2015-1970	2015/1970	
農家数	3,485	2,653	1,882	1,217	-2,268	34.9%	
専兼業別	専業農家	257	115	102	179	-78	69.6%
	割合	7.4%	4.3%	5.4%	14.7%	-	-
	第1種兼業	1,878	903	276	148	-1,730	7.9%
	割合	53.9%	34.0%	14.7%	12.3%	-	-
	第2種兼業	1,350	1,635	1,151	473	-877	35.0%
	割合	38.7%	61.7%	61.2%	39.0%	-	-
	自給的農家	-	-	353	417	417	皆増
	割合	-	-	18.8%	34.3%	-	-

資料:山形県の農業

② 経営耕地規模別農家数

区分	昭和45年	昭和60年	平成12年	平成27年	比較(45年)		
	1970	1985	2000	2015	2015-1970	2015/1970	
農家数	3,483	2,651	1,523	820	-2,663	23.5%	
経営耕地規模別農家数	1ha未満	1,893	1,316	535	218	-1,675	11.5%
	割合	54.3%	49.6%	35.1%	26.6%	-	-
	1~2ha	1,213	747	484	227	-986	18.7%
	割合	34.8%	28.2%	31.8%	27.7%	-	-
	2~3ha	336	362	233	116	-220	34.5%
	割合	9.6%	13.7%	15.3%	14.1%	-	-
	3ha以上	41	226	271	259	218	631.7%
	割合	1.2%	8.5%	17.8%	31.6%	-	-

資料:山形県の農業

3 工業（製造業）

① 長井市の工業【平成26年】(事業所数・従業者数、製造品出荷額等)

区分	事業所数	(構成比)	従業者数	(構成比)	出荷額(万円)	(構成比)
合計	117	100.0%	3,633	100.0%	4,706,801	100.0%
食料品	15	12.8%	149	4.1%	170,036	3.6%
飲料	3	2.6%	33	0.9%	32,135	0.7%
繊維	7	6.0%	149	4.1%	43,776	0.9%
家具・装備品	3	2.6%	157	4.3%	80,939	1.7%
パルプ・紙・紙加工	2	1.7%	52	1.4%	x	
出版・印刷	3	2.6%	29	0.8%	19,318	0.4%
プラスチック	4	3.4%	160	4.4%	161,095	3.4%
窯業・土石	4	3.4%	59	1.6%	107,151	2.3%
鉄鋼業	2	1.7%	226	6.2%	x	
非鉄金属	2	1.7%	143	3.9%	x	
金属製品	18	15.4%	452	12.4%	695,359	14.8%
はん用機械	1	0.9%	9	0.2%	x	
生産用機械	19	16.2%	395	10.9%	414,909	8.8%
業務用機械	6	5.1%	464	12.8%	206,295	4.4%
電子部品	7	6.0%	467	12.9%	715,817	15.2%
電気機械	5	4.3%	109	3.0%	182,900	3.9%
情報通信機械	3	2.6%	282	7.8%	554,498	11.8%
輸送用機械	9	7.7%	265	7.3%	447,107	9.5%
その他	4	3.4%	33	0.9%	28,451	0.6%

資料:工業統計表(市町村編)【従業者4人以上】

② 長井市の製造品出荷額等の推移【S35、S50、H3、H16、H26】

区分	昭和35年(1960)		区分	昭和50年(1975)		区分	平成3年(1991)		区分	平成16年(2004)		区分	平成26年(2014)	
	出荷額(万円)	構成比		出荷額(万円)	構成比		出荷額(万円)	構成比		出荷額(万円)	構成比		出荷額(万円)	構成比
合計	228,807	100.0%	合計	2,135,486	100.0%	合計	10,228,851	100.0%	合計	5,875,525	100.0%	合計	4,706,801	100.0%
電気	148,376	64.8%	電気	1,073,549	50.3%	電気	4,933,998	48.2%	電気	1,543,827	26.3%	電気	1,453,215	30.9%
繊維	41,077	18.0%	繊維	357,799	16.8%	精密	1,683,016	16.5%	精密	1,155,825	19.7%	金属	695,395	14.8%
食料品	15,224	6.7%	食料品	113,464	5.3%	金属	816,147	8.0%	金属	720,476	12.3%	機械	621,204	13.2%
化学	12,892	5.6%	金属	94,238	4.4%	機械	610,488	6.0%	機械	663,540	11.3%	輸送用	447,107	9.5%
金属	2,957	1.3%	土石	77,423	3.6%	食料品	286,193	2.8%	非鉄	374,248	6.4%	食料品	202,171	4.3%

※ 市町村編は昭和35年から公表

資料:工業統計表(市町村編)【従業者4人以上】

ア 郡是製糸(株)長井工場の歩み

- 大正 9年(1920) : 郡是製糸(株)長井工場誘致・操業開始
昭和18年(1943) : 社名を「郡是工業(株)」に変更
昭和21年(1946) : 郡是製糸(株)に復元
昭和42年(1967) : 社名を「グンゼ(株)」に変更
グンゼ(株)長井工場になる
昭和45年(1970) : 東北グンゼ(株)設立、山形工場操業(寒河江市)
(メリヤス肌着を製造)
昭和51年(1976) : 長井グンゼ(株)設立、操業開始
※ グンゼ(株)の関連会社 縫製部門(肌着)を担当
平成13年(2001) : 長井アパレル(有)設立【縫製】 【東北グンゼの傘下】

【資料:長井市(町・村)産業(主に工業)史 (株)マーク発行】

～～ 郡是製糸(株)長井工場 と 製糸場風景 ～～



郡是製紙(株)長井工場

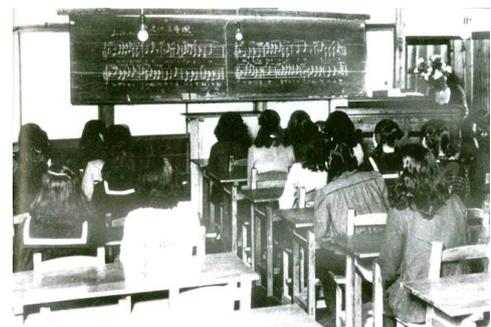


製紙場; 昭和5年の女子の洋装は珍しい

～～ 郡是製糸(株)長井工場の社内教育風景 ～～



【生花】



【音楽】

資料:長井市中央史談会編「写真で見る長井の昭和史」

イ 東芝(株)長井工場⇒マルコン電子(株)の歩み

- 昭和12年(1937) : 長井町(現長井市)工場誘致委員会と、日本電興(株)
(元東芝セラミックス(株)・日本重化学工業(株))において、
工場建設用地10万坪無償提供の契約締結
- 昭和16年(1941) : **東京芝浦電気(株)マツダ支社長井工場**を設立
(※あやめ公園一隅の民家を借用)電解コンデンサ試作開始
※ 工場建設を祝し、東京大相撲双葉山一行を迎える
- 昭和18年(1943) : **東京芝浦電気(株)長井工場 ⇒ 軍需工場に指定**
- 昭和25年(1950) : **東京電器(株)**として発足
⇒ 過度経済力集中排除法に基づき、東芝第二会社として分離・独立
- 昭和26年(1951) : 東京電器(株)、日本電興(株)から10万坪を無償譲渡
- 昭和35年(1960) : 東京電器(株)本社社屋竣工
- 昭和45年(1970) : 東京電器(株) ⇒ **マルコン電子(株)に社名変更**
- 平成 7年(1995) : 日本ケミカルコンデンサの傘下に入る(M&A)
⇒ **日本ケミコン(株)長井工場**

【資料:マルコン電子「わが社のあゆみ(30年史)」、長井市(町・村)産業(主に工業)史:(株)マーク発行】

資料:マルコン電子(株)「わが社のあゆみ(30年史)」

～～ 東京電器(株)の航空写真(幸町から南を望む) ～～



【写真:長井市文教の社フォトライブラリー(昭和31年5月撮影)】

～～ 長井市電気機械器具製造業出荷額の推移 ～～

区 分		電気機械器具製造業の製造品出荷額等（万円）							
		全 国 ①	指数	山形県 ②	指数	②/①	長井市 ③	指数	③/②
S35	1960	129,162,117	100	301,367	100	0.2%	148,376	100	49.2%
S38	1963	198,149,427	153	539,203	179	0.3%	197,772	133	36.7%
S41	1966	271,327,128	210	1,071,224	355	0.4%	264,379	178	24.7%
S44	1969	595,964,197	461	3,267,865	1,084	0.5%	757,226	510	23.2%
S46	1971	750,117,326	581	5,302,881	1,760	0.7%	740,068	499	14.0%
S57	1982	2,764,666,276	2,140	35,522,421	11,787	1.3%	3,224,428	2,173	9.1%
H3	1991	5,862,385,918	4,539	99,688,327	33,079	1.7%	4,933,998	3,325	4.9%
H13	2001	5,246,572,221	4,062	116,015,260	38,496	2.2%	2,054,483	1,385	1.8%

資料：工業統計表(市町村編)【従業者4人以上】

※ 市町村編は昭和35年から公表

※ 企業誘致に奔走した上村辰五郎氏の功績

上村辰五郎（かみむら・たつごろう）【明治21年(1888)4月23日～昭和47年(1972)12月27日:享年85歳】

長井町議会議員(昭和8～29)・長井市議会議員(昭和34～38) 勲五等双光旭日章受章

※ 郡是製糸(株)長井工場の誘致運動

- ① 江戸時代中期から養蚕が盛んで、水田に向かない台地に桑を植え、蚕を飼い繭を販売していたが、生産農家は製糸業者に弱かった。
- ② 安心して繭作りに専念するため、資本力のある大企業を誘致し、適正価格で確実に販売することを目的に、当時32歳の上村は、本町の羽陽館製糸場跡地3,000坪と周辺の畑を買収した1万坪に、郡是製糸(株)長井工場を誘致するため、長井町当局や関係者に働きかけ、大正9年(1920)に操業した。これが長井市内の企業誘致第1号。 【資料:長井市(町、村)産業(主に工業)史:(株)マーク発行から】

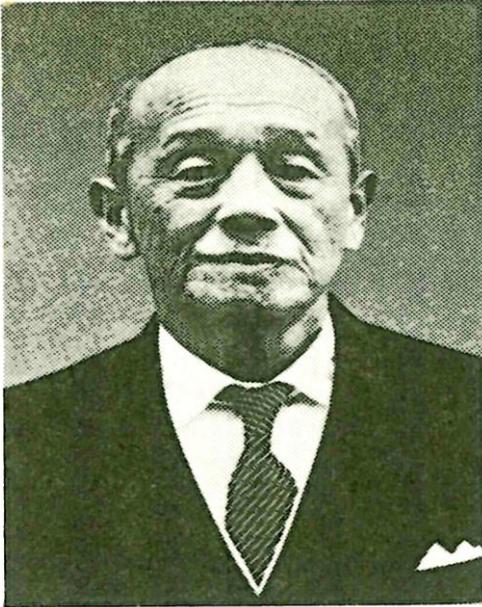
※ 東芝(株)長井工場の誘致運動

- ① 昭和2年の金融恐慌、同4年のニューヨーク株式の大暴落等の不景気に加え、昭和9年の東北地方冷害による生活苦を直視し、郡是の誘致実績を踏まえ、第2、第3の大企業、大工場の誘致による町の発展を計画。
- ② 国を挙げた電気事業熱が起こり、県は、飯豊山系の水源を東芝の前身東京電気(株)の傍系会社「日本電興(株)」（元(株)東芝セラミックス)に水利権の使用を許可。その条件に、県南に電気関係の重工業工場を建設することとされ、上村をはじめとする町議代表等による招致委員会を組織し、是非長井町に建設すべしと、親会社の東芝本社に一大招致運動を行った。
- ③ 長井誘致の際は10万坪の無償提供(昭和12年当時の町予算116,800円に匹敵)を提示。東芝本社は町を挙げた熱烈的な招致運動に動かされ、昭和12年に長井への工場建設を決断し、野川の水を利用する軽工業の製造工場を建設することに至る。

～～ 農・商・工の一体化で町の発展を ～～

資料:マルコン電子(株)「わが社のあゆみ(30年史)」

上村辰五郎氏(1888-1972)



愛称: 上辰(かみたつ)

天性の世話好き

翁を知る人の評

**「親切で、しかも大胆、
その反面、几帳面であり、
緻密な人」**

ウ 協同薬品工業(株)の歩み

- 大正12年(1923) : 全国購買組合联合会発足 → 定款に薬品の供給、製造を明記
- 昭和18年(1943) : 全国製薬(株)設立 → 東京に新設(製造担当常務:横澤浩一氏)
【終戦当時のクミアイ家庭薬製造】⇒ 東京:全国製薬、名古屋:富士製薬、奈良:暁製薬
- 昭和20年(1945) : 3月の東京大空襲で全国製薬が全焼 → 長野県村井へ移転
⇒ 工場再建は、東北北海道農村の保健衛生向上のため東北に!
- 昭和21年(1946) : 全国製薬(株)東北工場として再建【社長:横澤浩一氏(長井市出身)】
⇒ 長井のシカマガソリンスタンド向い【現:長井市役所交差点ローソン】
- 昭和22年(1947) : 全国製薬(株)東北工場 ⇒ 「協同薬品工業(株)」に社名変更
- 昭和25年(1950) : 全購連 → 経営非常事態により“家庭薬取扱一時休止宣言”
⇒ ドッジ旋風と呼ばれたデフレ政策により農協経営が苦境
- 昭和26年(1951) : 協同薬品工業(株)全購連に復帰 → 唯一の専属工場として生産
- 昭和35年(1960) : 本社工場移転【現本社】
⇒ 郡是(株)長井工場の南敷地
- 昭和42年(1967) : 新工場竣工
- 昭和47年(1972) : 「農村健康之塔」建立
- 昭和59年(1984) : 配置農家100万戸達成
- 平成 8年(1996) : 山形工場建設・操業開始(川西町西大塚)

【資料:クミアイ家庭薬の七十年】

4 商業

① 小売業の推移【長井市】

区 分	昭和37年	昭和49年	平成9年	平成26年	比 較 (52年)	
	1962	1974	1997	2014	2014-1962	2014/1962
商店数	563	607	477	269	-294	47.8%
指数	100	108	85	48	-	-
従業者数	1,337	1,987	2,106	1,496	159	111.9%
指数	100	149	158	112	-	-
年間商品販売額 (百万円)	1,729	12,753	45,413	32,554	30,825	1882.8%
指数	100	738	2,627	1,883	-	-
1商店販売額 (百万円)	3.1	21.0	95.2	121.0	117.9	3940.6%
指数	100	684	3,100	3,941	-	-
1従業員販売額 (百万円)	1.3	6.4	21.6	21.8	20.5	1682.7%
指数	100	496	1,667	1,683	-	-

資料：山形県の商業

～～ 活気に満ちた本町商店街 ～～



【写真:長井市文教の杜フォトライブラリー(昭和35年4月撮影)】

～～ 賑わう駅前商店街 ～～



昭和40年～60年頃

【写真:長井市中央史談会編
「写真で見る長井の昭和史」】

③ 消費の多様化と大型店の進出

- 昭和40年(1965) : スーパーマーケット「梅屋・東店」(栄町)
※ キャッチフレーズ『カゴを持って自由にお買い物』
- 昭和52年(1977) : 「山交ストア長井店」(市役所向い)
- 昭和55年(1980) : 「サンプラザ梅屋」(中道)
- 昭和61年(1986) : 「ホームセンターグルッペ」【本格的な大型店】
- 昭和63年(1988) : 「ヨークベニマル長井店」(本町)
「うめや十日町店」(十日町)【北店開店と同時に閉店】

↓ << 広い駐車場を求めて郊外進出 = 中心市街地の衰退 >>

- 平成5年(1993) : 「ホームセンタージョイ長井店」(九野本)
- 平成8年(1996) : 「ホームセンタームサシ長井店」(館町南)
「うめや南店」(館町南)
- 平成13年(2001) : 「ヤマザワ長井店」(館町南)
- 平成19年(2007) : 「ヤマダ電機テックランド長井店」(館町南)
- 平成26年(2014) : 「うめや北店」(館町南)
「ヨークベニマル長井小出店・ホームセンターコメリ」(館町南)
- 平成28年(2016) : 「ケーズデンキ長井店」(館町北)

5 商工団体の組織化

② 長井商工会議所の設立

1 商工会から商工会議所への道のり

- ① 経緯：長井市商工会設立10周年(昭和45年)を機に、商工会議所への移行を論議。
- ② 理由：世界第二位の経済国として国際的な経済交流が活発化しつつある中、信用の補完、商品の紹介斡旋、経済の拡大発展を世界的視野で進めること。
- ③ 準備：昭和47年9月に専務理事制を導入、昭和48年5月に商工会議所移行のための新執行部体制を敷き、通産省の指導を得る。
- ④ 創立総会：昭和50年1月23日、仙台通産局長・山形県知事等の出席を賜り創立総会を開催。県経由通産大臣あて認可申請書を提出。
- ⑤ 長井市商工会の解散：昭和50年3月28日に長井市商工会の臨時総会を開催。3月31日に解散登記。

2 県下6番目の商工会議所として発足(昭和50年4月)

- ① 昭和50年4月1日に設立登記を行い、山形・酒田・鶴岡・米沢・新庄に次ぐ、県下6番目の商工会議所となる。【全国:468番目／515商工会議所】
- ② 初代会頭:横山董一氏、副会頭:鈴木小兵衛氏・加藤嘉志朗氏
専務理事:志村幸助氏

6 今後の産業展開【洞察力・先見性による環境変化への対応】

- ① **人口動向に注目**【別紙:「年齢区分別人口の推移」参照】
- ア 少子化・若年層の減少 → 若者の流出 + 非婚化が拍車
 - イ 高齢化の進展 → 65歳以上:33%、75歳以上:20%
 - ※ 社会保障費(医療費・介護保険等)の更なる増加
 - ウ 人口減少によるパイ(生産・消費)の縮小 = 消費の低迷
 - 事業者の減少(廃業・倒産・後継者不在)
- 【対応策】** 交流人口の増大 + 定住人口の増加(U I Jターン)
(自然・歴史・文化・景観等地域資源を活かした観光振興 + 受入態勢づくり)
- ② **就業人口の相対的高齢化と人手不足**
- ※ 働き方改革 → 女性&高齢者の参加拡大
- 【対応策】** I T、I o Tによる生産性向上
- ③ **人生100年時代の生活支援**
- ※ 健やかに生き生き暮らす → 健康寿命を延ばす
- 【対応策】** ヘルスケアビジネスの創出
(軟水(硬度20)・食(農薬・化学肥料不使用)・癒しの環境(自然・景観・四季=長居)・けん玉)

産学官金連携による地域の総合力発揮

孔子が説いた政治の要諦
葉公問政子曰「近者説 遠者来」